

ニュースリリース

Sapporo Concert Hall Kitara
札幌コンサートホール



Sapporo Concert Hall

札幌コンサートホールKitara 第18代専属オルガニストが 秋元札幌市長表敬訪問

札幌コンサートホールでは、平成10年から毎年、大ホールに設置されたオルガン（アルフレッド・ケルン社製）の製作地であるフランスでオルガンを学んだ演奏者を専属オルガニストとして招聘しています。

このたび、札幌コンサートホールKitaraの第18代専属オルガニストとして、ダヴィデ・マリアーノが9月1日着任いたしました。Kitaraを拠点とした演奏活動を開始するにあたり、下記の日程で市長にご挨拶いたします。

来年8月まで1年間の任期中、札幌コンサートホールでの演奏活動のほか、普及活動や教育活動に携わる予定で、10月8日（土）には、札幌コンサートホールの大ホールにおいて、『ダヴィデ・マリアーノ デビューリサイタル』を行います。

表敬者：ダヴィデ・マリアーノ（第18代札幌コンサートホール専属オルガニスト）

日程：平成28年9月16日（金）13時30分～13時50分

場所：札幌市役所 10階 市長応接室

<プロフィール>

ダヴィデ・マリアーノ

Daive Mariano

1988年イタリア生まれ。ロレンツォ・ペロージ音楽院で学び、オルガンソリスト課程を優秀な成績で卒業。ウィーン国立音楽大学でマルティン・ハーゼルベックにオルガンを、ゴードン・マレーにチェンバロを師事し、それぞれ修士号を取得。2014年、最も優秀な学生の一人として名誉賞を受賞し同大学を卒業。15年からはパリ国立高等音楽院にて修士課程修了者のためのアーティスト・ディプロマコースにおいてミシェル・ブヴァール、オリヴィエ・ラトリー、ルイ・ロビヤールのもとオルガン演奏の研鑽を積んでいる。

これまでに、ウィーン楽友協会、マドリッド国立音楽堂、アン・デア・ウィーン劇場、ヴェルサイユ宮殿王室礼拝堂、パリ サン・セヴラン教会、ウィーン ペーター教会をはじめ、欧米やアジア各国でコンサートを行うほか、ヨーロッパ各地の音楽祭にも出演。また、リサイタルのほか、オーケストラや合唱との共演も行っている。

08年ファーノ・アドリアーノ国際オルガンコンクール第1位、15年セント・オールバンズ国際オルガンコンクール第2位及びピーター・ハーフォード・バッハ賞受賞ほか、各国のコンクールで優秀な成績をおさめている。



第18代札幌コンサートホール専属オルガニスト

ダヴィデ・マリアーノ デビューリサイタル

日時：2016年10月8日（土）14:00 開演（13:30 開場）

会場：札幌コンサートホール 大ホール

料金：全席指定（税込）一般 1,000円 U25 シート 500円

プログラム：J.S.バッハ／トッカータとフーガ 二短調BWV565

ヴィヴァルディ・J.S.バッハ編曲／協奏曲 イ短調 BWV593 他

●担当・お問い合わせ

札幌コンサートホール管理課 川島、持田、山下

〒064-8649 札幌市中央区中島公園 1-15 TEL 011-520-2000 FAX 011-520-1575